

## あ と が き

- 2023年5月8日から、「2類相当」であった新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に変更された。
  - ただし、新型コロナが消え去ったわけでも、収束したわけでもない。
  - この3年ほどの「2類相当」の扱いのなか、「重篤な感染の様子に怯え」「現場対応の医療関係者の疲弊した様子を見聞きし」「重くやりきれない空気が日常に漂い」「人流が漸たれ」「三密の禁があり」「集いもならず」「旅行も渡航もならず」、それこそグルグル巻きの縄目を当てられたかのごとき、お手上げの不自由な日々が続いた。
  - 監禁状態から「一気に外に出よ」との「号令」にも、たちまちにはついていけない自分がある。「作られた閉塞」「作られた開放」のいずれにも懐疑的になった自分がある。
- この3年ほどの「縛られた日々」が、そもそもなんであったのか、これからどうなりゆくのか・・・とついつい臆病になり、あたりを見渡ししてしまう。
- 新型コロナとの関連はなさそうだが、ロシアとウクライナの間で戦争が勃発した。戦争の行方も漠としており、下手をすると危険が身辺に及ぶという巷間の噂も杞憂ではなさそうだ。
- これらの閉塞感、世界中を席卷し、社会生活を変え、学問や文化までも変えてしまった感がある。なにより、暮らしのなかから元気がこぼれ落ちたように思えてならない。

.....
- こういう状況の中、『海』第30号(通巻第97号)を編集・発行することになりました。
- 節目に当たり、「第三十号発行記念小特集」を組んでいます。
- 今号から、天津孔雀氏が同人に加わりました。天津氏は、前号の「招待席」寄稿者です。
- 今号は、「招待席」へ2名の寄稿があり、新たな刺激を得る機会だと思っています。
- 招待席とは、『海』に「新たな空気を吹き込んでいただく」ということで設けたもので、高野義裕氏の詩、田中龍太氏の小説はいかがでしょうか。  
もっとも、「招待席寄稿者が同人にならねばならない」という縛りはありません。
- 『海』への忌憚のないご意見、ご叱責など、いただけましたら誠に幸いに存じます。(U)

(『海』冊子購読ご希望の方)

- 1号1冊につき、500円でお求めできます。書店は、次のとおりです。  
紀伊国屋書店福岡本店(博多駅中央街)、ジュンク堂福岡店(天神)  
福岡金文堂本店(天神・新天町)
- 全国のどの書店からでも注文でき、入手することができますので、ご利用願います。
- 『海』第二期の作品は、下記ホームページの「各号作品(公開)」からも閲覧できます。
- 『海』ホームページ <http://1884165118841651.web.fc2.com/> (『海第二期』で検索可)

---

文芸同人誌 海 第二期 第30号(通巻第97号)

編集委員 有森信二、井本元義、上水敬由、仲西佳文、長野秀樹、牧草 泉(50音順)

発行年月日 令和5年(2023年)7月1日

発行行 海編集委員会(委員会は、下記「編集発行人」のもとにあります)

編集発行人 有森信二 〒818-0101 太宰府市観世音寺1-15-33(松本方)

電話 090-1976-8119(携帯)

創刊 第二期:平成21年(2009年)6月20日

第一期:昭和62年(1987年)9月1日

海宛メール bungei2@gmail.com(+は@に書き換え願います)

発行所:(有)花書院 〒810-0012 福岡市中央区白金2-9-2 TEL092-526-0287

印刷、製本:城島印刷(株)福岡市中央区白金2-9-6 TEL092-531-7102